

第7章

地区福祉計画

第7章 地区福祉計画

1 地区福祉計画について

(1) 地区の区分

本市は、多様な特性を備えた地域によって構成されていることから、行政所管区域を基本に市域を、「中央地区」、「谷山地区」、「伊敷地区」、「吉野地区」、「吉田地区」、「桜島地区」、「喜入地区」、「松元地区」、「郡山地区」の9地区に区分します。

(2) 計画の内容

基本理念や基本目標の実現に向けて、地区ごとの特色や課題を踏まえながら、各取組方針に基づき、地域福祉を推進していくものです。

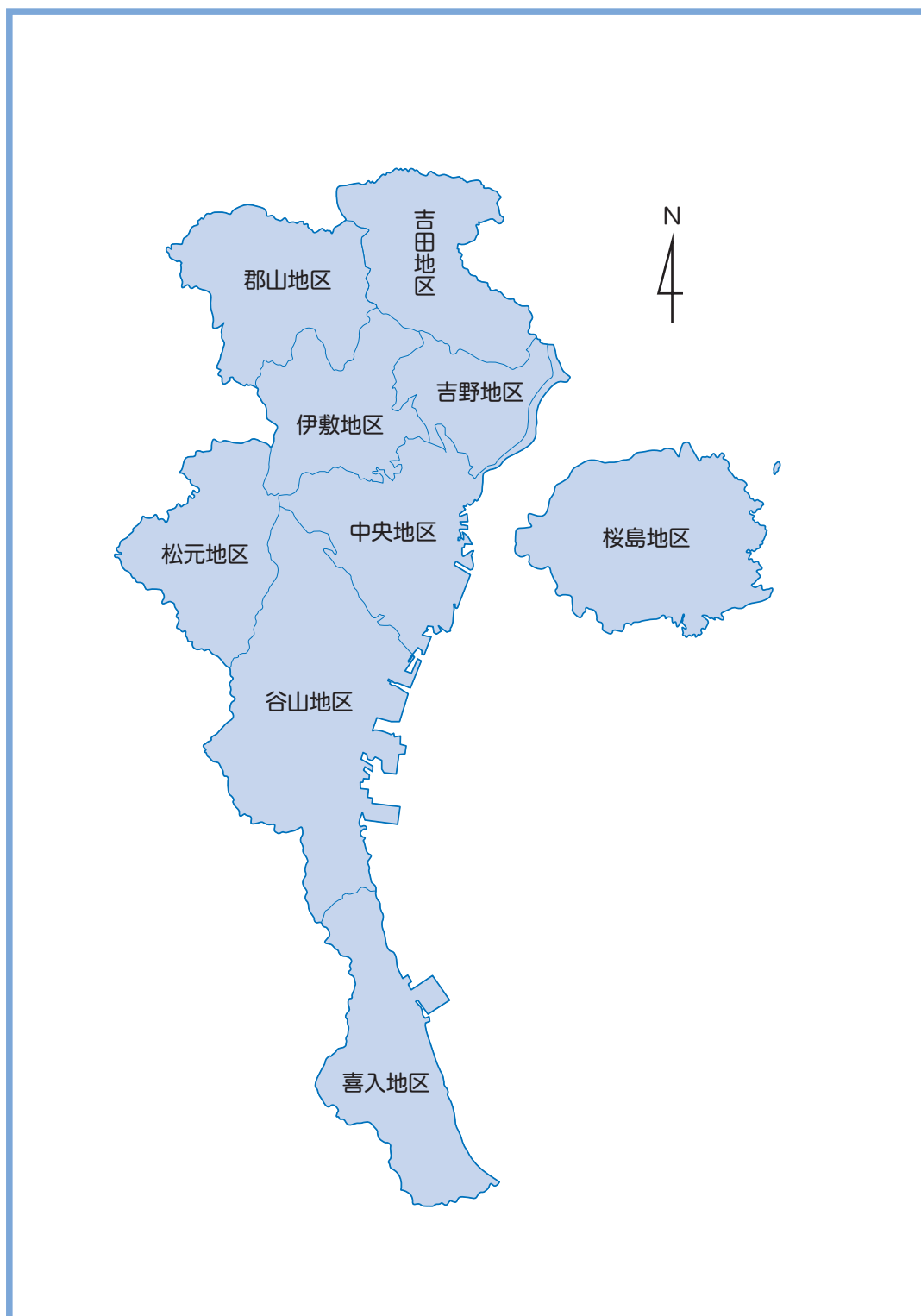
なお、計画の内容は、地区ごとに設置された地区福祉推進会議において検討が行われたもので、地区ごとに特色ある表現で記載しています。

(3) 地区福祉計画の取組の推進にあたって

地区福祉計画の取組を進めるにあたっては、校区社会福祉協議会や地域コミュニティ協議会、町内会、地区民生委員児童委員協議会、高齢者クラブ、ボランティア団体、NPO法人など、地域の関係団体が緊密に連携を図りながら、地域が一体となって取り組むことが重要です。

また、地域福祉館等や地域福祉支援員は、地域の関係団体に対して、福祉活動に関する助言や情報提供を行うなど、地区福祉計画の取組を一層推進します。

<地区の区分>



<地区の内訳>

【 】は総合計画における地区の区分

地区	町丁目
中央	【中央地区】 名山町、平之町、東千石町、西千石町、中町、金生町、照国町、泉町、住吉町、堀江町、大黒町、呉服町、新町、船津町、城南町、松原町、南林寺町、甲突町、錦江町、新屋敷町、樋之口町、山之口町、千日町、加治屋町、中央町、上之園町、上荒田町
	【上町地区】 坂元町、西坂元町、東坂元1～4丁目、清水町、祇園之洲町、鼓川町、池之上町、稻荷町、春日町、柳町、浜町、上竜尾町、下竜尾町、冷水町、長田町、大竜町、上本町、小川町、本港新町、易居町、山下町、城山町、玉里団地1～3丁目、若葉町、吉野町の一部（磯、花倉、三船、竜ヶ水及び平松）
	【鴨池地区】 高麗町、荒田1～2丁目、与次郎1～2丁目、下荒田1～4丁目、天保山町、鴨池新町、鴨池1～2丁目、唐湊3～4丁目、郡元町、郡元1～3丁目、南郡元町、東郡元町、真砂町、真砂本町、三和町、南新町、日之出町、紫原1～6丁目、西紫原町、桜ヶ丘7～8丁目、宇宿1～9丁目、中央港新町、新栄町、向陽2丁目
	【城西地区】 城山1～2丁目、新照院町、草牟田町、草牟田1～2丁目、玉里町、永吉1～3丁目、明和1～5丁目、原良町、原良1～7丁目、薬師1～2丁目、城西1～3丁目、鷹師1～2丁目、常盤町、常盤1～2丁目、西田1～3丁目
	【武・田上地区】 武1～3丁目、唐湊1～2丁目、紫原7丁目、向陽1丁目、広木1～3丁目、田上町、田上1～8丁目、田上台1～4丁目、西別府町、武岡1～6丁目、西陵1～8丁目、小野町の一部（西之谷）
谷山	【谷山北部地区】 五ヶ別府町、星ヶ峯1～6丁目、皇徳寺台1～5丁目、山田町、中山町、中山1～2丁目、自由ヶ丘1～2丁目、桜ヶ丘1～6丁目、小原町、魚見町、東谷山1～7丁目、清和1～2丁目、希望ヶ丘町、小松原1～2丁目、東開町
	【谷山地区】 西谷山1～4丁目、清和3～4丁目、上福元町、谷山中央1～8丁目、下福元町、慈眼寺町、和田1～3丁目、平川町、卸本町、南栄1～6丁目、七ッ島1～2丁目、谷山港1～3丁目、錦江台1～3丁目、坂之上1～8丁目、光山1～2丁目
伊敷	伊敷町、伊敷1～8丁目、伊敷台1～7丁目、西伊敷1～7丁目、千年1～2丁目、花野光ヶ丘1～2丁目、下伊敷町、下伊敷1～3丁目、小野町（西之谷を除く。）、小野1～4丁目、犬迫町、小山田町、皆与志町
吉野	岡之原町、緑ヶ丘町、川上町、下田町、吉野町（磯、花倉、三船、竜ヶ水及び平松を除く。）、吉野1～2丁目、大明丘1～3丁目
吉田	西佐多町、東佐多町、本城町、本名町、宮之浦町、牟礼岡1～3丁目
桜島	桜島赤水町、桜島赤生原町、桜島小池町、桜島西道町、桜島白浜町、桜島武町、桜島藤野町、桜島二俣町、桜島松浦町、桜島横山町、新島町、野尻町、持木町、東桜島町、古里町、有村町、黒神町、高免町
喜入	喜入瀬々串町、喜入中名町、喜入生見町、喜入前之浜町、喜入町、喜入一倉町
松元	石谷町、入佐町、上谷口町、直木町、春山町、福山町、松陽台町、四元町、平田町
郡山	花尾町、有屋田町、川田町、郡山町、郡山岳町、西俣町、東俣町、油須木町

＜地区の人口・世帯数・高齢化率＞

地区	人口（人）			世帯数（世帯）			高齢化率（％）		
	H29年度	R3年度	増減	H29年度	R3年度	増減	H29年度	R3年度	増減
中央	291,362	288,872	▲ 2,490	151,442	154,556	3,114	25.2	27.1	1.9
谷山	161,879	162,147	268	71,815	74,560	2,745	21.5	24.5	3.0
伊敷	52,014	49,667	▲ 2,347	24,241	23,910	▲ 331	29.7	33.2	3.5
吉野	49,023	50,620	1,597	21,988	23,246	1,258	28.4	29.4	1.0
吉田	10,791	10,132	▲ 659	5,116	5,197	81	31.7	38.0	6.3
桜島	4,469	3,863	▲ 606	2,426	2,243	▲ 183	45.9	50.1	4.2
喜入	11,497	10,850	▲ 647	5,376	5,317	▲ 59	34.6	38.6	4.0
松元	16,277	17,258	981	6,466	6,981	515	21.8	22.8	1.0
郡山	7,479	7,002	▲ 477	3,582	3,519	▲ 63	35.9	40.5	4.6
市全体	604,791	600,411	▲ 4,380	292,452	299,529	7,077	25.3	27.7	2.4

※各年度4月1日時点の住民基本台帳人口

＜地区の取組方針一覧＞

地区	取 組 方 針
中央	<ul style="list-style-type: none"> ① 地域福祉を支える担い手の確保と支え合う地域づくり ② 高齢者の生きがいづくりとひとり暮らし高齢者や認知症高齢者に対する支援 ③ 子育て支援の充実と児童虐待防止 ④ 障害者への支援の充実 ⑤ 安心安全な地域づくり ⑥ ひきこもりや生活困窮者への支援
谷山	<ul style="list-style-type: none"> ① 世帯の状況に応じた子育て支援やサポート環境の構築 ② 地域住民の交流促進や情報共有の強化 ③ 福祉活動に携わる人材の掘り起こしと活動の支援 ④ 安心して暮らせる地域づくりのための協力体制の構築 ⑤ 障害者を支える人材の確保とネットワークの構築 ⑥ 高齢者を見守る体制づくりや社会参加の促進
伊敷	<ul style="list-style-type: none"> ① 地域住民同士の交流促進と地域のつながりの強化 ② 地域の課題や情報の共有と福祉関連情報の発信 ③ 支援を必要とする住民を関係団体や地域全体で支える体制づくり ④ ひとり暮らし高齢者や認知症高齢者等への支援 ⑤ 福祉活動を推進する人材の確保と育成 ⑥ 安心安全な地域づくり
吉野	<ul style="list-style-type: none"> ① 地域活動への理解と担い手の育成 ② 連携した相談対応とわかりやすい支援情報の提供 ③ 安心安全な地域づくり ④ 子育て支援の充実と児童虐待防止 ⑤ 高齢者の生きがいづくりと介護予防 ⑥ 障害者等への支援と交流促進
吉田	<ul style="list-style-type: none"> ① 地域福祉を支える担い手の確保と支え合う地域づくり ② 高齢者の生きがいづくりや認知症等に対する支援 ③ 子育て支援の充実 ④ ひきこもりや生活困窮者への支援 ⑤ 安心安全な地域づくり ⑥ 効果的な情報発信
桜島	<ul style="list-style-type: none"> ① 安心安全な地域づくり ② 福祉活動に携わる人材確保と地域や世代間の交流を通じて共に助け合う心の醸成 ③ 見守り体制の充実による高齢者等の孤立を防ぐための環境づくり ④ 子育て支援の充実と児童虐待防止 ⑤ ひきこもりや生活困窮者等への支援 ⑥ 施設の有効活用と福祉情報の提供

地区	取 組 方 針
喜入	<ul style="list-style-type: none"> ① 地域のつながりの強化 ② 高齢者や障害者に対する見守り活動の推進 ③ 健康づくりや元気づくりの推進 ④ 安心安全な地域づくり ⑤ 子育て支援と子どもの安全な環境づくり ⑥ 既存施設の有効活用
松元	<ul style="list-style-type: none"> ① 地域内交流と世代間交流の促進による担い手の掘り起こしや育成 ② 福祉に関する情報発信の充実 ③ 安心安全な地域づくり ④ 高齢者や障害者の生活支援や健康づくり ⑤ 子育て支援の充実 ⑥ ひきこもりや生活困窮者等への支援
郡山	<ul style="list-style-type: none"> ① 援助の必要な世帯の把握と支援 ② 子育て支援の充実 ③ 女性の意見を福祉活動に取り込む体制づくり ④ 福祉活動を行う人材の掘り起こしと育成 ⑤ 地域住民への効率的な福祉情報の発信 ⑥ 支援体制の連携と情報提供

※計画の内容は、地区ごとに設置された地区福祉推進会議において検討が行われたもので、地区ごとに特色ある表現で記載しています。

中央地区

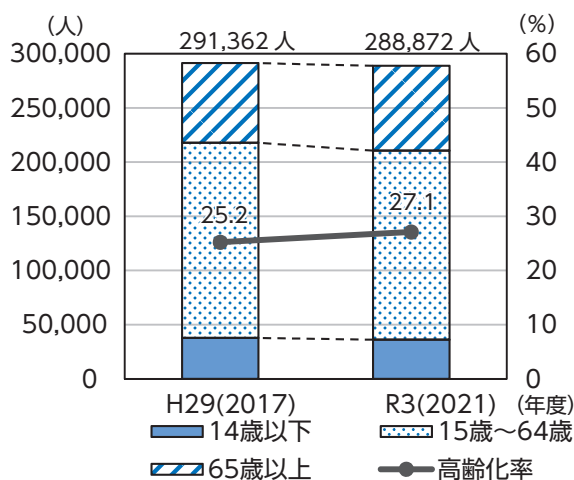
(1) 特色

本市の中央部に位置し、人口と世帯数が9地区の中で最も多い地区です。

人口は28万9千人で減少傾向にあり、高齢化率は27.1%で、市全体をやや下回っています。

原良団地や玉里団地などにおいて、同世代が一斉に入居したことや子世代が転出したことにより高齢化が進むなど、活力の低下が懸念されています。

■中央地区の人口・高齢化率の推移



※各年度4月1日時点の住民基本台帳人口

■中央地区福祉推進会議での主な意見等

- ・中央地区は、色々な組織や団体がある地区で、マンションも多く、情報提供が難しい。
- ・民生委員は、認知度はあっても活動内容までは知られていない。
- ・校区社会福祉協議会の認知度が低い。
- ・災害が多くなっている中、地域の人と顔見知りになることが大事だ。
- ・地域での高齢者の把握が難しくなってきている。

■中央地区におけるアンケート調査結果 (令和2年度調査から抜粋)

- ・今後、充実していく必要がある福祉活動
 - 【市 民】 高齢者福祉(14.8%)、災害対策(14.8%)、防犯対策(12.4%)
 - 【民生委員】 住民同士の交流(32.9%)、災害対策(27.8%)、ひきこもりの方への支援(26.0%)
- ・福祉活動充実のために必要なこと
 - 【市 民】 福祉に関する情報提供の充実(34.1%)、地域での人のつながり(29.7%)、福祉に関する相談窓口の充実(20.0%)
 - 【民生委員】 地域での人のつながり(60.7%)、地域のリーダー (31.9%)、福祉に関する情報提供の充実(27.8%)

(2) 主な課題

- ① 地域福祉を支える担い手の減少と地域のつながりの希薄化
- ② 進行する高齢化への対応
- ③ 育児不安の増大や子育ての孤立化
- ④ 障害者が安心・快適に暮らせる地域づくり
- ⑤ 災害・事故・犯罪への対応
- ⑥ ひきこもりや生活困窮者への対応

(3) 取組方針と主な取組（◆は主な取組）

- ① 地域福祉を支える担い手の確保と支え合う地域づくり
 - ◆ 町内会への加入促進による人材の発掘
 - ◆ ホームページやSNSを活用した情報発信
 - ◆ 地域の関係団体の各種交流の推進
 - ◆ 世代や分野を超えた幅広い交流の推進
 - ◆ 地域福祉館の利用促進による地域福祉ネットワークの充実
 - ◆ 民生委員・児童委員との連携強化
 - ◆ 市社会福祉協議会と連携したボランティア活動の推進
- ② 高齢者の生きがいづくりとひとり暮らし高齢者や認知症高齢者に対する支援
 - ◆ 高齢者の健康づくりの推進
 - ◆ 生涯学習や各種イベント等へ的高齢者の参加促進と高齢者クラブへの加入促進
 - ◆ 地域包括支援センターと連携した高齢者への各種支援
 - ◆ 介護講習会への参加促進と介護する家族への支援
 - ◆ ひとり暮らし高齢者や認知症高齢者の把握や日常的な見守り活動
 - ◆ 認知症に関する正しい理解の促進
- ③ 子育て支援の充実と児童虐待防止
 - ◆ 子育てサロンや育児サークル活動の活性化
 - ◆ 各種イベント等への子育て世帯の参加促進
 - ◆ 子育て支援施設と連携した子育て世帯への各種支援
 - ◆ 地域の関係団体と学校等が連携した相談支援体制の充実
 - ◆ ひとり親家庭の把握や日常的な見守り活動
 - ◆ 児童虐待防止に向けた地域での見守り活動
- ④ 障害者への支援の充実
 - ◆ 障害に関する正しい理解の促進
 - ◆ 障害者の把握や日常的な見守り活動
 - ◆ 障害者福祉施設との交流促進
 - ◆ 各種イベント等へ障害者の参加促進
 - ◆ 集会施設等のバリアフリー化の推進
- ⑤ 安心安全な地域づくり
 - ◆ 地域の危険箇所の情報共有
 - ◆ 防災訓練への参加促進
 - ◆ 災害時の避難行動要支援者への支援
 - ◆ 防犯パトロールや登下校時の見守り活動の推進
 - ◆ 高齢者を特殊詐欺や悪質商法から守るための活動の推進
- ⑥ ひきこもりや生活困窮者への支援
 - ◆ ひきこもりに関する理解の促進
 - ◆ ひきこもりの日常的な見守り活動と家族への支援
 - ◆ 生活困窮者の日常的な見守り活動

谷山地区

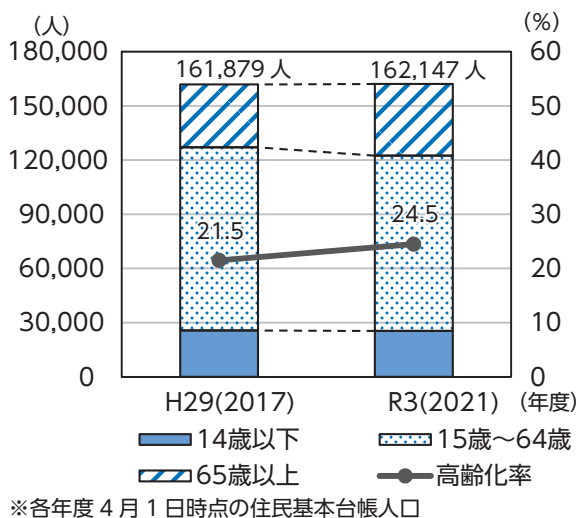
(1) 特色

本市の南部に位置し、人口と世帯数が中央地区に次いで多い地区です。

人口は16万2千人で、ほぼ横ばいで推移しており、高齢化率は24.5%で、松元地区に次いで低くなっています。

桜ヶ丘団地や皇徳寺ニュータウンなどにおいて、同世代が一斉に入居したことや子世代が転出したことにより高齢化が進むなど、活力の低下が懸念されている一方、子育て世代の流入等により、保育需要が高まっている地域もあります。

■谷山地区の人口・高齢化率の推移



■谷山地区福祉推進会議での主な意見等

- ・谷山地区は子育て世帯が多い地区であり、子育て支援体制の構築は重要である。
- ・若い方たちは町内会に入らず、子育てサロンに参加する人も限られている。
- ・若い時に市営住宅の上の階に入居した人たちが、現在、高齢者となり、ゴミ出しや病院に行きにくくなっている。
- ・親の年金で生活している50代の無職の子への支援が難しい。

■谷山地区におけるアンケート調査結果（令和2年度調査から抜粋）

- ・今後、充実していく必要がある福祉活動
 - 【市 民】 高齢者福祉(17.0%)、災害対策(16.7%)、子育て支援(13.9%)
 - 【民生委員】 住民同士の交流(41.4%)、災害対策(28.2%)、ひきこもりの方への支援(25.1%)
- ・福祉活動充実のために必要なこと
 - 【市 民】 地域での人のつながり(33.9%)、福祉に関する情報提供の充実(30.6%)、地域の福祉活動を支援する専門員の充実(21.3%)
 - 【民生委員】 地域での人のつながり(70.9%)、福祉に関する情報提供の充実(33.0%)、地域のリーダー (31.3%)

(2) 主な課題

- ① 親子で育ち合う環境づくりと子育て支援の充実
- ② 地域で助け合える絆の構築
- ③ 地域福祉を支える人材の確保・育成
- ④ 誰もが安心安全に暮らせる地域づくり
- ⑤ 障害者のよりよい地域生活のための支援の充実
- ⑥ 地域における高齢者の生活支援と見守り体制の確立

(3) 取組方針と主な取組（◆は主な取組）

① 世帯の状況に応じた子育て支援やサポート環境の構築

- ◆ 子育て世代の情報交換の機会づくり
- ◆ 子育て支援施設での育児相談や勉強会等の情報発信
- ◆ 共働き家庭やひとり親家庭への支援の充実
- ◆ 子育て支援ネットワークの構築と推進
- ◆ 子育て経験者や専門的な知識を持った人材との交流による意識向上

② 地域住民の交流促進や情報共有の強化

- ◆ 地域での交流や助け合い活動による絆づくり
- ◆ 地域ふれあい交流助成事業等を活用した世代間交流の推進
- ◆ 広報紙等を活用した転入者や未加入者の町内会への加入促進
- ◆ 地域の関係団体の交流や情報共有
- ◆ ひきこもりや生活困窮者の把握や日常的な見守り活動

③ 福祉活動に携わる人材の掘り起こしと活動の支援

- ◆ あらゆる世代が福祉活動に参加しやすい環境づくり
- ◆ 町内会等への加入促進による人材の発掘
- ◆ 広報紙やSNS等を活用したボランティア活動や研修会等の情報発信
- ◆ 地域で活動しているグループや協働団体の支援
- ◆ 民生委員・児童委員活動の支援

④ 安心して暮らせる地域づくりのための協力体制の構築

- ◆ 高齢者等の支援が必要な方の把握と支援体制づくり
- ◆ 地域生活課題の早期発見と対応強化
- ◆ 見守りネットワークの連携体制の充実
- ◆ 地域の危険箇所の把握と情報の周知
- ◆ 自主防災・防犯組織の活動の推進

⑤ 障害者を支える人材の確保とネットワークの構築

- ◆ 障害への理解の促進と支援する人材の確保
- ◆ 生活支援のニーズ把握と支援体制づくり
- ◆ 地域での自立生活の支援の推進
- ◆ 見守り活動等による地域で支え合える関係づくり
- ◆ 各種イベント等への障害者の参加促進

⑥ 高齢者を見守る体制づくりや社会参加の促進

- ◆ 高齢者支援の多様な担い手の育成と確保
- ◆ 地域の関係団体間に見守りネットワークの充実と情報共有
- ◆ 介護講習会や介護相談の充実と家族への支援
- ◆ 高齢者クラブ等への加入や各種イベント等への参加促進
- ◆ 地域包括ケアシステムの構築と推進
- ◆ 認知症に関する正しい理解の促進

伊敷地区

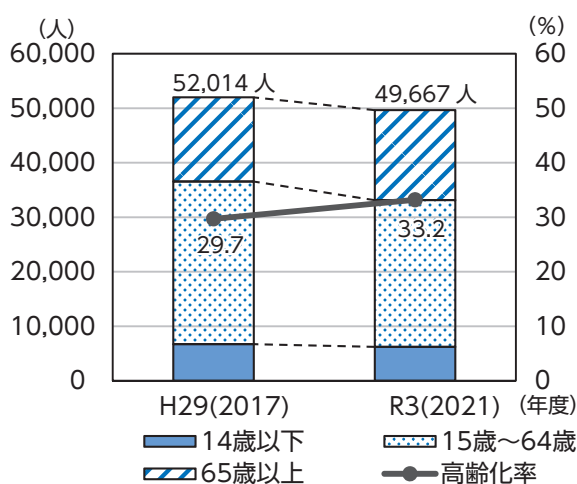
(1) 特色

本市の北西部、甲突川の中流域に位置し、幹線道路沿道や甲突川沿岸の限られた平地と丘陵部の住宅団地、山間部の農村集落で構成されています。

人口は5万人で減少傾向にあり、高齢化率は33.2%で増加傾向にあり、市全体より高くなっています。

伊敷団地や千年団地などにおいて、同世代が一斉に入居したことや子世代が転出したことにより高齢化が進むなど、活力の低下が懸念されています。

■伊敷地区の人口・高齢化率の推移



■伊敷地区福祉推進会議での主な意見等

- ・校区社会福祉協議会と地域コミュニティ協議会が、もっと連携しながら活動していかなければいけない。
- ・40～50歳代の現役世代の人達に、福祉に関心を持って参加してもらう機会を作れば、そこから後継者が育っていくのではないかな。
- ・地域の人達への朝晩の挨拶や声掛けも、地域福祉だと思う。

■伊敷地区におけるアンケート調査結果（令和2年度調査から抜粋）

- ・今後、充実していく必要がある福祉活動
 - 【市民】 高齢者福祉(16.1%)、住民同士の交流(14.3%)、災害対策(14.3%)
 - 【民生委員】 住民同士の交流(32.3%)、災害対策(28.0%)、認知症の方への支援(25.8%)
- ・福祉活動充実のために必要なこと
 - 【市民】 地域での人のつながり(36.5%)、福祉に関する情報提供の充実(30.4%)、福祉に関する相談窓口の充実(23.5%)
 - 【民生委員】 地域での人のつながり(67.7%)、地域のリーダー(31.2%)、地域の福祉活動を支援する専門員の充実(25.8%)

(2) 主な課題

- ① 地域コミュニティの更なる連携強化
- ② 福祉に関する情報提供の充実
- ③ 支援を必要とする住民への支援体制の強化
- ④ 高齢者への支援の強化
- ⑤ 地域を支える人材の高齢化と後継者不足
- ⑥ 高齢者・障害者・子どもが安心して暮らせる環境づくり

(3) 取組方針と主な取組（◆は主な取組）

- ① **地域住民同士の交流促進と地域のつながりの強化**
 - ◆ 関係団体と町内会の連携による魅力ある町内会活動の情報発信と町内会への加入促進
 - ◆ 校区運動会や文化祭等の地域のイベントへの参加促進
 - ◆ 敬老会や町内会のグラウンドゴルフ大会等への子どもたちの参加促進
 - ◆ 保育所等と高齢者クラブ等との交流促進
 - ◆ 児童を含めた地域のボランティア活動への参加促進
 - ◆ 地域コミュニティ協議会と校区社会福祉協議会が連携した福祉活動への参加促進
 - ◆ 子育てサロンへの参加促進
- ② **地域の課題や情報の共有と福祉関連情報の発信**
 - ◆ 地区内の危険箇所の把握と地域住民への情報提供
 - ◆ 福祉マップの作成と活用
 - ◆ 関係団体の福祉に関する活動の地区住民への効果的な情報提供
 - ◆ ホームページやSNSを活用した情報発信
- ③ **支援を必要とする住民を関係団体や地域全体で支える体制づくり**
 - ◆ 高齢者や障害者の把握調査や訪問活動
 - ◆ 災害時の避難行動要支援者の支援体制づくり
 - ◆ 緊急連絡先カード等の普及促進
 - ◆ 支え合いマップ等による見守りに関するネットワーク体制づくり
 - ◆ ひとり親家庭の相談支援体制の充実
 - ◆ 児童虐待防止に向けた地域での見守り活動
- ④ **ひとり暮らし高齢者や認知症高齢者等への支援**
 - ◆ 認知症への正しい理解の促進と支援体制の充実
 - ◆ 声掛け等の見守り活動の推進
 - ◆ 介護講習会への参加促進
 - ◆ 高齢者クラブやお達者クラブ等への参加促進
 - ◆ 保健センターとの連携による健康づくりの推進
- ⑤ **福祉活動を推進する人材の確保と育成**
 - ◆ 町内会への加入促進と人材の掘り起こしや育成
 - ◆ 福祉活動を担う次世代への働きかけと地域住民が参加しやすい環境づくり
 - ◆ 市社会福祉協議会と連携したボランティア活動の推進
 - ◆ 地域内の関係団体の交流促進
- ⑥ **安心安全な地域づくり**
 - ◆ 登下校の児童の見守り活動への参加
 - ◆ 防犯パトロール等への参加促進
 - ◆ あいさつ運動の推進による地域全体での子どもの見守り
 - ◆ 特殊詐欺や悪徳商法から高齢者等を守るための情報提供
 - ◆ 防災に関する訓練や講習会への参加促進
 - ◆ 避難行動要支援者への避難支援

吉野地区

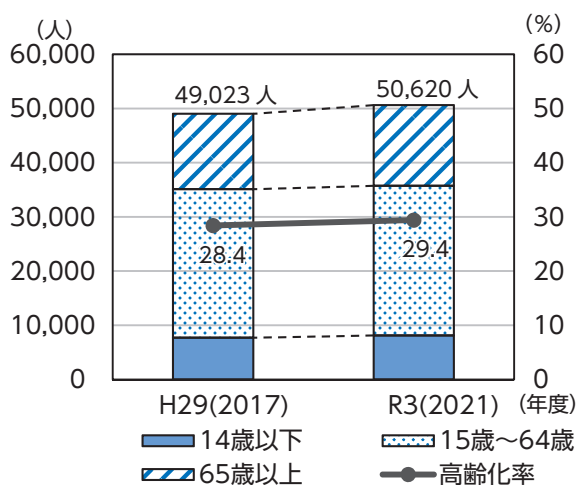
(1) 特色

本市の北部、稲荷川の上流域に位置し、吉野や岡之原の台地、河川沿岸の平坦地から構成され、土地区画整理が進んでいる区域を中心に良好な生活環境が形成されつつあります。

人口は5万人で増加傾向にあり、高齢化率は29.4%で、市全体をやや上回っています。

大明ヶ丘団地や緑ヶ丘団地などにおいて、同世代が一斉に入居したことや子世代が転出したことにより高齢化が進むなど、活力の低下が懸念されています。

■吉野地区の人口・高齢化率の推移



※各年度 4月1日時点の住民基本台帳人口

■吉野地区福祉推進会議での主な意見等

- ・子どもの頃から地域の活動に興味を持つことで、親と子どもと一緒に活動に参加することが期待できる。
- ・町内会の加入率が低下していることが問題であり、特に、転入してきた世帯の加入率が低い。
- ・認知症には地域の理解が大切である。
- ・障害者や難病の方を支える家族や兄弟姉妹などへの支援も検討していく必要がある。

■吉野地区におけるアンケート調査結果 (令和2年度調査から抜粋)

- ・今後、充実していく必要がある福祉活動
 - 【市 民】 高齢者福祉(14.4%)、災害対策(12.9%)、住民同士の交流(12.4%)
 - 【民生委員】 住民同士の交流(32.8%)、認知症の方への支援(31.3%)、災害対策(23.4%)
- ・福祉活動充実のために必要なこと
 - 【市 民】 福祉に関する情報提供の充実(30.7%)、地域での人のつながり(29.2%)、地域の福祉活動を支援する専門員の充実(18.8%)
 - 【民生委員】 地域での人のつながり(57.8%)、地域の福祉活動を支援する専門員の充実(39.1%)、福祉に関する情報提供の充実(35.9%)

(2) 主な課題

- ① 地域福祉を支える担い手の減少と地域活動の衰退
- ② 相談の多様化と行き届かない支援情報
- ③ 災害、事故、犯罪、感染症への対応
- ④ 子どもを取り巻く環境の変化と子育てへの不安の解消
- ⑤ 高齢者の介護と認知症高齢者への対応
- ⑥ 障害者等が抱える悩みとニーズの把握

(3) 取組方針と主な取組（◆は主な取組）

- ① 地域活動への理解と担い手の育成
 - ◆ 地域住民への地域活動の情報発信
 - ◆ 町内会への加入促進による人材の発掘
 - ◆ 地域活動への参加促進
 - ◆ 子どもと一緒に参加できる地域活動の充実
 - ◆ 地域の関係団体の連携強化
- ② 連携した相談対応とわかりやすい支援情報の提供
 - ◆ 多様な相談に対応できる体制づくり
 - ◆ 地域住民のさまざまな悩みを受け止める相談支援
 - ◆ 民生委員・児童委員と連携した支援
 - ◆ 支援情報の集約と提供方法の充実
 - ◆ ホームページやSNSを活用した情報発信
- ③ 安心安全な地域づくり
 - ◆ 地域の危険箇所の把握と見守り活動の推進
 - ◆ 災害時の避難行動要支援者への支援と福祉施設との連携
 - ◆ 災害等に関する正しい情報の共有
 - ◆ 交通安全意識の向上と防災訓練や防犯活動への参加促進
 - ◆ 感染症予防策の徹底
- ④ 子育て支援の充実と児童虐待防止
 - ◆ 子育てに関する相談体制の充実
 - ◆ 子育て支援施設等を活用した交流の促進
 - ◆ ひとり親家庭への支援の充実
 - ◆ 支援が必要な世帯の把握と地域の関係団体が連携した見守り活動
 - ◆ 児童虐待の早期発見と早期対応
- ⑤ 高齢者の生きがいづくりと介護予防
 - ◆ 高齢者の地域活動やイベントへの参加促進
 - ◆ 高齢者福祉センター等の利用促進
 - ◆ 高齢者が地域で孤立しないための見守り活動
 - ◆ 介護等に関する相談体制の充実
 - ◆ 認知症に関する正しい理解の促進
- ⑥ 障害者等への支援と交流促進
 - ◆ 支援が必要な障害者等の把握と見守り活動の推進
 - ◆ 障害者等に関する相談体制の充実
 - ◆ 障害者等を支える家族への支援の充実
 - ◆ 障害者等の地域活動やイベントへの参加促進
 - ◆ 障害に関する正しい理解の促進

吉田地区

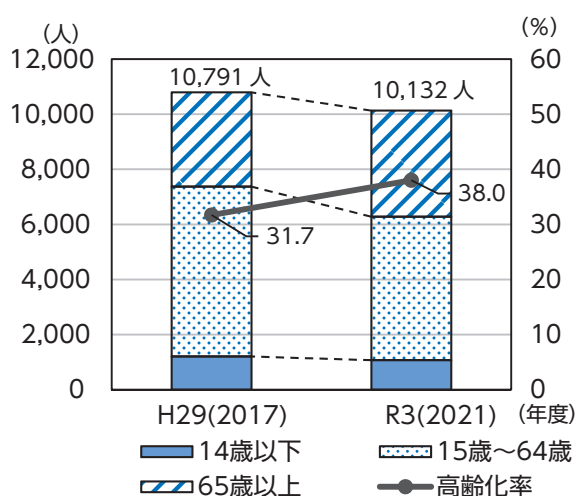
(1) 特色

本市の北部に位置し、河川沿岸や幹線道路沿道の平坦地と丘陵部の住宅団地、森林と山間部の農村集落で構成されている、緑豊かな自然環境に恵まれた田園地域です。

人口は1万人で減少傾向にあり、高齢化率は38.0%で、伸び率が9地区で最も大きくなっています。

牟礼岡団地などにおいて、同世代が一斉に入居したことや子世代が転出したことにより高齢化が進むなど、活力の低下が懸念されています。

■吉田地区の人口・高齢化率の推移



※各年度4月1日時点の住民基本台帳人口

■吉田地区福祉推進会議での主な意見等

- ・地域のリーダーとなる人材の確保が重要である。
- ・地域の活動に参加しやすいような雰囲気を作っていくことが重要である。
- ・校区社会福祉協議会が見守り活動等を行っているが、地域住民に情報が行き届いていない。
- ・ひきこもりへの対応は、本人が支援を受け入れないこともあり、対応が難しい。

■吉田地区におけるアンケート調査結果（令和2年度調査から抜粋）

- ・今後、充実していく必要がある福祉活動
 - 【市民】 高齢者福祉(21.6%)、災害対策(17.2%)、住民同士の交流(14.2%)
 - 【民生委員】 認知症の方への支援(28.6%)、災害対策(28.6%)、住民同士の交流(23.8%)
- ・福祉活動充実のために必要なこと
 - 【市民】 地域での人のつながり(35.8%)、福祉に関する情報提供の充実(28.4%)、地域の福祉活動を支援する専門員の充実(24.6%)
 - 【民生委員】 地域での人のつながり(66.7%)、地域のリーダー(42.9%)、福祉に関する研修・人材育成(42.9%)

(2) 主な課題

- ① 地域福祉を支える担い手の減少と地域のつながりの希薄化
- ② 進行する高齢化への対応
- ③ 育児不安の増大や子育ての孤立化
- ④ ひきこもりや生活困窮者への対応
- ⑤ 災害、事故、犯罪への対応
- ⑥ 福祉情報の充実

(3) 取組方針と主な取組（◆は主な取組）

- ① 地域福祉を支える担い手の確保と支え合う地域づくり
 - ◆ 町内会への加入促進による人材の発掘
 - ◆ 地域住民が親睦を深め共に支え合う環境づくりの推進
 - ◆ あらゆる世代が参加できる交流の場の充実
 - ◆ 地域住民が気軽に交流できるイベントの開催
 - ◆ ボランティア活動への参加促進
 - ◆ 福祉活動の推進拠点としての吉田福祉センターの利用促進
- ② 高齢者の生きがいづくりや認知症等に対する支援
 - ◆ 高齢者クラブやお達者クラブ等への参加促進
 - ◆ 高齢者いきいきポイント制度の活用によるボランティア活動への参加促進
 - ◆ 認知症に関する正しい理解の促進
 - ◆ ひとり暮らし高齢者の見守り活動の実施
 - ◆ 介護に関する講座等への参加促進
- ③ 子育て支援の充実
 - ◆ 子育て世代の相互交流が図られる場の提供
 - ◆ 子育てサロンへの参加促進
 - ◆ 育児相談や子育てサロン等を活用した情報提供の充実
 - ◆ ひとり親家庭の見守り活動の推進
- ④ ひきこもりや生活困窮者への支援
 - ◆ ひきこもりや生活困窮者を見守り活動の実施
 - ◆ ひきこもりや生活困窮者に関する相談支援機関の情報提供の充実
 - ◆ ひきこもりや生活困窮者に関する地域の関係団体の連携の促進
- ⑤ 安心安全な地域づくり
 - ◆ 避難行動要支援者の状況把握と災害時の避難支援
 - ◆ 地区内の危険箇所の把握と情報発信
 - ◆ 関係機関と連携した防犯活動や交通安全運動の推進
 - ◆ あいさつ運動による子どもの見守り活動の推進
 - ◆ 高齢者や子どもを事故や犯罪から守る取組の推進
- ⑥ 効果的な情報発信
 - ◆ 校区社会福祉協議会や地域コミュニティ協議会等の活動内容の情報提供
 - ◆ 校区社協だより等の福祉活動に関する広報紙の充実
 - ◆ イベントカレンダーの発行
 - ◆ 福祉マップの作成
 - ◆ ホームページやSNS等を活用した情報発信

桜島地区

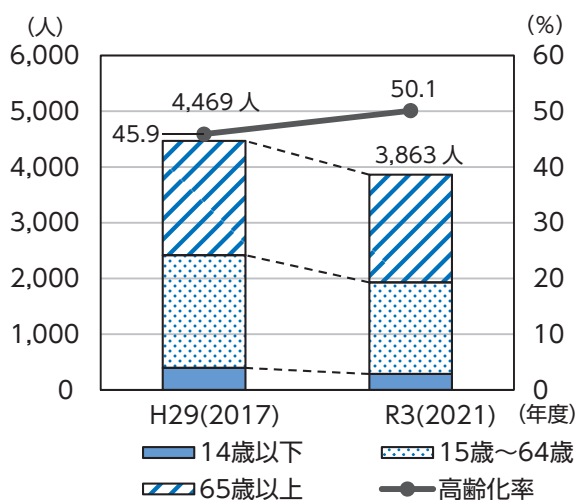
(1) 特色

錦江湾に浮かぶ活火山の桜島にあり、地域内のほとんどが溶岩原、森林及び原野で、住宅地は海岸線に沿って帯状に続いているほか、桜島独自の貴重な自然環境や景観資源を有する観光地となっています。

人口は4千人で9地区の中で最も少なく、減少傾向にあり、高齢化率は50.1%で、9地区の中で最も高く、増加傾向にあります。

桜島の火山活動が継続する中、防災対策のさらなる充実が必要な地域です。

■桜島地区の人口・高齢化率の推移



■桜島地区福祉推進会議での主な意見等

- ・地域の行事に積極的に参加する方が少ないため、異世代間の交流や高齢者のイベントに若い世代が参加できる取組が必要である。
- ・増加してきている一人暮らしの高齢者に対して、しっかりと福祉を行き届けなければならない。
- ・いきいきサロン等への男性の参加促進を図る必要がある。

■桜島地区におけるアンケート調査結果（令和2年度調査から抜粋）

- ・今後、充実していく必要がある福祉活動
 - 【市民】災害対策(24.8%)、高齢者福祉(24.0%)、住民同士の交流(21.6%)
 - 【民生委員】住民同士の交流(24.0%)、認知症の方への支援(24.0%)、ひきこもりの方への支援(24.0%)
- ・福祉活動充実のために必要なこと
 - 【市民】地域での人のつながり(44.0%)、地域のリーダー(28.8%)、地域の福祉活動を支援する専門員の充実(24.8%)
 - 【民生委員】地域での人のつながり(60.0%)、福祉に関する研修・人材育成(28.0%)、福祉に関する情報提供の充実(20.0%)

(2) 主な課題

- ① 災害、事故、犯罪への対応
- ② 福祉活動に携わる人材の不足と地域交流・世代間交流の充実
- ③ 見守りが必要な高齢者等への対応
- ④ 育児不安の増大や子育て生活の孤立化への対応
- ⑤ 生活困窮者等への対応
- ⑥ 福祉資源の活用と福祉の情報提供の充実

(3) 取組方針と主な取組（◆は主な取組）

- ① 安心安全な地域づくり
 - ◆ 防災・防犯に対する意識の高揚
 - ◆ 防災訓練の充実強化
 - ◆ 避難行動要支援者の避難体制の確立
 - ◆ 地区内の危険箇所の把握と情報共有
 - ◆ 防犯パトロールや登下校時の見守り活動の推進
- ② 福祉活動に携わる人材確保と地域や世代間の交流を通じて共に助け合う心の醸成
 - ◆ 地域の関係団体間の連携と情報交換の推進
 - ◆ お達者クラブやいきいきサロン等を支援するボランティア人材の育成
 - ◆ ボランティア活動を行う人材の発掘と活動への参加促進
 - ◆ 校区の運動会や文化祭等による地域住民相互の交流の推進
 - ◆ ふれあい行事等による世代間交流の推進
 - ◆ 町内会への加入促進による人材の発掘
- ③ 見守り体制の充実による高齢者等の孤立を防ぐための環境づくり
 - ◆ 高齢者や障害者の把握や日常的な見守り活動
 - ◆ 高齢者クラブやお達者クラブ等への参加促進
 - ◆ 高齢者や障害者に関する相談支援体制の充実
 - ◆ 高齢者の健康づくりの推進
 - ◆ 移動困難な高齢者や障害者への支援に向けた取組
 - ◆ 福祉サービスの周知と利用促進
 - ◆ 認知症に関する正しい理解の促進
- ④ 子育て支援の充実と児童虐待防止
 - ◆ 子育てサロン等の周知と参加促進
 - ◆ 各種イベントへの子育て世帯の参加促進
 - ◆ 民生委員・児童委員による相談支援体制の充実
 - ◆ ひとり親家庭の把握や日常的な見守り活動
 - ◆ 児童虐待防止に向けた地域での見守り活動
- ⑤ ひきこもりや生活困窮者等への支援
 - ◆ ひきこもりや生活困窮者等の把握や日常的な見守り活動
 - ◆ ひきこもりや生活困窮者等に関する相談支援機関等の情報提供
- ⑥ 施設の有効活用と福祉情報の提供
 - ◆ 地域公民館や高齢者福祉センターの活用促進
 - ◆ 市社会福祉協議会桜島支部の活用促進
 - ◆ 町内会の回覧板や掲示板等を活用した情報発信
 - ◆ 校区社会福祉協議会による福祉活動の広報
 - ◆ ホームページやSNSを活用した情報発信

喜入地区

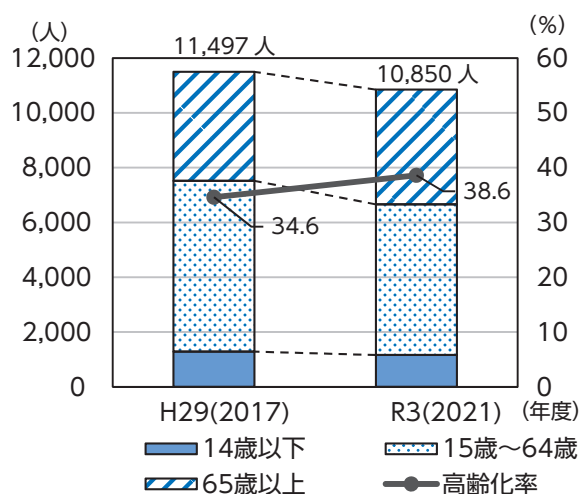
(1) 特色

本市の南部に位置し、約8割を占める山地と錦江湾に沿った平坦地で構成されています。

人口は1万1千人で減少傾向にあり、高齢化率は38.6%で、市全体を大きく上回り、増加傾向にあります。

地区内では、北中部に比べて南部の過疎化・高齢化が進んでいます。

■喜入地区の人口・高齢化率の推移



■喜入地区福祉推進会議での主な意見等

- ・町内会加入率が、年々減少傾向にあるので、今後も加入促進に努めなければならない。
- ・高齢化が進んでおり、地域の関係団体との連携も難しくなっている。
- ・地域福祉の担い手確保に力を入れる必要がある。

■喜入地区におけるアンケート調査結果（令和2年度調査から抜粋）

- ・今後、充実していく必要がある福祉活動
 - 【市 民】 高齢者福祉(22.7%)、災害対策(20.8%)、住民同士の交流(16.9%)
 - 【民生委員】 災害対策(36.4%)、健康づくり(30.3%)、ひきこもりの方への支援(24.2%)
- ・福祉活動充実のために必要なこと
 - 【市 民】 地域での人のつながり(44.8%)、福祉に関する相談窓口の充実(27.9%)、福祉に関する情報提供の充実(26.6%)
 - 【民生委員】 地域での人のつながり(57.6%)、関係団体等のネットワーク(33.3%)、地域のリーダー (30.3%)

(2) 主な課題

- ① 地域のとながりの希薄化
- ② 見守り活動の充実
- ③ 健康づくりや元気づくりの充実
- ④ 災害時の支援体制の充実
- ⑤ 子育て支援の充実
- ⑥ 福祉活動の拠点の不足

(3) 取組方針と主な取組（◆は主な取組）

- ① 地域のつながりの強化
 - ◆ 地域住民への町内会活動内容に関する情報発信
 - ◆ 校区等の行事への参加促進
 - ◆ 町内会への加入促進による人材の発掘
 - ◆ 町内会の活動のあり方のさらなる充実
- ② 高齢者や障害者に対する見守り活動の推進
 - ◆ ともしびグループ等による見守り活動の推進
 - ◆ 高齢者や障害者に対する理解の促進
 - ◆ 高齢者や障害者が必要とする支援の把握と推進
 - ◆ 認知症に関する正しい理解の促進
 - ◆ 身近なボランティア活動への参加促進
- ③ 健康づくりや元気づくりの推進
 - ◆ 高齢者クラブやお達者クラブ等への参加促進
 - ◆ 健康づくり講演会や介護講習会への参加促進
 - ◆ 認知症サポーター養成講座への参加促進
 - ◆ 健康づくり推進員や食生活改善推進員の後継者や地域活動の指導者の育成
 - ◆ 「六月灯」や「敬老会」等の伝統行事の継承
 - ◆ 元気高齢者が活躍できる場の提供
 - ◆ 地域における世代間交流の推進
- ④ 安心安全な地域づくり
 - ◆ 福祉・防災マップの作成と活用
 - ◆ 自主防災組織の充実や危険箇所のチェックの実施
 - ◆ 防災訓練や救急救命講習への参加促進
- ⑤ 子育て支援と子どもの安全な環境づくり
 - ◆ 校区社会福祉協議会の子育てサロン等の活用
 - ◆ 子育てに関する情報発信
 - ◆ 大人から率先したあいさつ運動の実施
 - ◆ スクールガードによる学校敷地内外の巡回の徹底
 - ◆ 防犯パトロール隊による登下校時の安全の確保
- ⑥ 既存施設の有効活用
 - ◆ 校区公民館や集落公民館等の既存施設を活用した福祉活動の推進
 - ◆ 集落公民館等の広場の活用

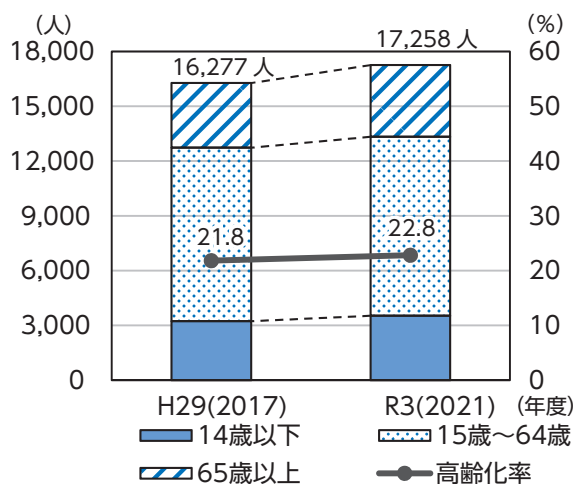
松元地区

(1) 特色

本市の西部に位置し、多くの丘陵と渓谷からなり、河川沿岸や幹線道路沿道の限られた平坦地と主に山林等で構成されています。

人口は1万7千人で伸び率が9地区で最も大きく、高齢化率は22.8%で、9地区で最も低くなっています。

■松元地区の人口・高齢化率の推移



※各年度4月1日時点の住民基本台帳人口

■松元地区福祉推進会議での主な意見等

- ・町内会未加入世帯に、どのように情報を届けるかが課題である。
- ・地域の人と顔を合わせて話をすることに意義があり、話をする事で、入ってくる情報もある。
- ・時代に合った福祉活動をしていく必要があり、地域住民に見える福祉活動をしていかなければならない。
- ・高齢化が進んでいるが、子育て支援も重要である。

■松元地区におけるアンケート調査結果（令和2年度調査から抜粋）

- ・今後、充実していく必要がある福祉活動
 - 【市民】災害対策(15.2%)、高齢者福祉(13.4%)、子育て支援(12.8%)
 - 【民生委員】住民同士の交流(40.6%)、高齢者福祉(25.0%)、ひきこもりの方への支援(25.0%)
- ・福祉活動充実のために必要なこと
 - 【市民】地域での人のつながり(36.6%)、福祉に関する情報提供の充実(25.6%)、地域の福祉活動を支援する専門員の充実(18.9%)
 - 【民生委員】地域での人のつながり(71.9%)、地域のリーダー(56.3%)、関係団体等のネットワーク(25.0%)

(2) 主な課題

- ① 福祉活動を支える担い手の減少
- ② 福祉に関する情報提供と情報共有
- ③ 住み慣れた地域で安心安全に暮らせる環境づくり
- ④ 高齢者や障害者への対応
- ⑤ 子育てしやすい環境づくり
- ⑥ 支援が必要な方の見守り体制づくり

(3) 取組方針と主な取組（◆は主な取組）

- ① 地域内交流と世代間交流の促進による担い手の掘り起こしや育成
 - ◆ 関係団体各種行事の共同開催による世代間交流促進と人材発掘
 - ◆ 町内会への加入促進による人材の発掘
 - ◆ 地域行事への参加呼びかけ
 - ◆ 校区社会福祉協議会・地域コミュニティ協議会・町内会等の連携と情報共有
 - ◆ 役員交替時の研修実施や他校区との情報交換の場を創設
 - ◆ 役員の複数年就任に向けた取組
 - ◆ 地域活動に参加しやすい声掛け等環境づくりへの取組
- ② 福祉に関する情報発信の充実
 - ◆ 地域の関係団体が発行する広報紙の発行時期の整理や見直し
 - ◆ 広報紙掲載内容の見直しと情報の充実
 - ◆ 若年世代に向けたホームページやSNSを活用した情報発信
 - ◆ 各種講習会への参加促進
- ③ 安心安全な地域づくり
 - ◆ 見守りネットワークの充実と情報共有
 - ◆ 支え合いマップづくりの研修開催
 - ◆ 危険箇所点検や日常的な見守り活動
 - ◆ 各家庭の防災無線の運用支援
 - ◆ ボランティア活動への参加促進
 - ◆ 相談支援窓口を周知するための情報発信
- ④ 高齢者や障害者の生活支援や健康づくり
 - ◆ 高齢者クラブやお達者クラブ等各サロンの育成と活動活性化
 - ◆ 認知症や障害に関する正しい理解の促進
 - ◆ 校区社会福祉協議会と地域コミュニティ協議会が連携した交流事業の実施
 - ◆ ひとり暮らし高齢者や認知症高齢者の把握と日常的な見守り活動
 - ◆ 障害者の把握と日常的な見守り活動
 - ◆ 公共交通機関利用困難者の把握と買い物支援体制の充実
- ⑤ 子育て支援の充実
 - ◆ 危険箇所の安全パトロールや登下校見守り活動の充実
 - ◆ 子育てサロンや育児サークル等の活動活性化
 - ◆ 地域行事への子育て世帯の参加呼びかけ
 - ◆ 子育て世帯の相談支援体制の充実
- ⑥ ひきこもりや生活困窮者等への支援
 - ◆ 民生委員・児童委員による相談支援体制の充実
 - ◆ 生活困窮者の情報把握と情報共有
 - ◆ 地域の関係団体が連携した支援が必要な方の情報共有

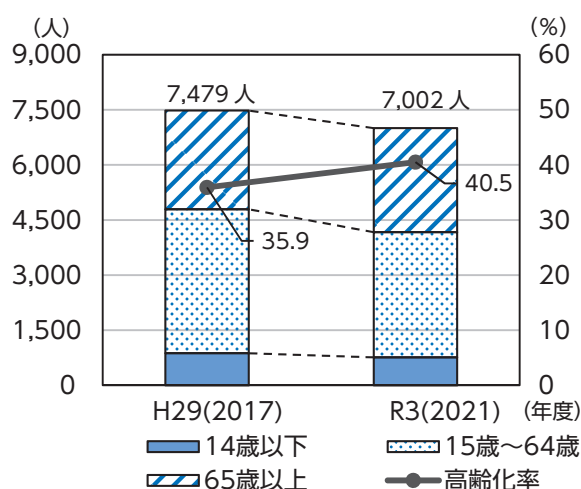
郡山地区

(1) 特色

本市の北西部、甲突川の上流域に位置し、東に花尾山・三重岳、北に八重山があり、河川沿岸や幹線道路沿道の限られた平坦地と主に山地で構成されています。

人口は7千人で減少傾向にあり、高齢化率は40.5%で、桜島地区に次いで高く、増加傾向にあります。

■郡山地区の人口・高齢化率の推移



※各年度4月1日時点の住民基本台帳人口

■郡山地区福祉推進会議での主な意見等

- ・認知症の方が住みやすい地域づくりや、認知症の方を温かい目で見守ることのできる地域づくりができればよい。
- ・福祉活動にかかわる人材の育成と確保が急務である。
- ・女性団体が解散し、福祉活動に女性の意見が反映されにくくなるのではないか。
- ・紙媒体やホームページ等で提供される福祉情報が、自治会未加入世帯や情報弱者に届いていない。

■郡山地区におけるアンケート調査結果 (令和2年度調査から抜粋)

- ・今後、充実していく必要がある福祉活動
 - 【市 民】 災害対策(23.1%)、高齢者福祉(21.5%)、防犯対策(16.9%)
 - 【民生委員】 健康づくり(31.8%)、住民同士の交流(27.3%)、障害者福祉(27.3%)
- ・福祉活動充実のために必要なこと
 - 【市 民】 地域での人のつながり(46.9%)、福祉に関する情報提供の充実(33.1%)、福祉に関する相談窓口の充実(25.4%)
 - 【民生委員】 地域での人のつながり(63.6%)、福祉に関する情報提供の充実(36.4%)、地域のリーダー (27.3%)

(2) 主な課題

- ① 高齢者や障害者等への援助活動
- ② 子どもの健やかな成長を育む環境づくり
- ③ 女性の意見を福祉活動に反映する機会の減少
- ④ 福祉活動に携わる人材の確保
- ⑤ 福祉に関する情報提供の充実
- ⑥ 相談支援体制の充実

(3) 取組方針と主な取組（◆は主な取組）

① 援助の必要な世帯の把握と支援

- ◆ ひとり暮らし高齢者等安心通報システムやITを活用した見守りの推進
- ◆ 見守り活動をとおして気づく各世帯の課題把握
- ◆ 避難行動要支援者の状況把握
- ◆ 介護予防のためのふれあい活動や健康づくり事業の推進
- ◆ 認知症に関する正しい理解の促進

② 子育て支援の充実

- ◆ 自治会等における防犯・防災活動の展開
- ◆ 子育てサロンにおける親への相談活動の充実
- ◆ 地区民生委員児童委員協議会による子育て通信の発行
- ◆ 地域子育て支援センターや児童センターの積極的な活用
- ◆ 校区社会福祉協議会からの新生児誕生世帯への記念品贈呈

③ 女性の意見を福祉活動に取り込む体制づくり

- ◆ 女性の視点に立った福祉活動の推進
- ◆ 役員への積極的登用

④ 福祉活動を行う人材の掘り起こしと育成

- ◆ 地域住民に対する福祉活動の理解促進
- ◆ 自治会における参加しやすい福祉活動の展開
- ◆ 誰もが参加しやすい組織体制の構築
- ◆ 学生や若い世代の自治会活動への参加促進
- ◆ 自治会への加入促進による人材の発掘

⑤ 地域住民への効率的な福祉情報の発信

- ◆ 校区社会福祉協議会や地域コミュニティ協議会等による広報紙の発行
- ◆ 公共施設や商業施設を活用した情報発信
- ◆ ホームページやSNSを活用した情報発信
- ◆ 自治会未加入世帯への福祉情報の提供

⑥ 支援体制の連携と情報提供

- ◆ 支援が必要な方々の問題発生時における地域の関係団体との連携強化
- ◆ 支援が必要な方々の情報の共有
- ◆ 複合的な問題に対する地域の関係団体の支援